

安全上のご注意

必ずお守りください

- 施工開始前に必ずお読みください。
- 施工者と使用者の安全を確保するために、この施工説明書をよくお読みになり、正しい施工を行ってください。
- この説明書で使用しているマークは以下のような意味があります。

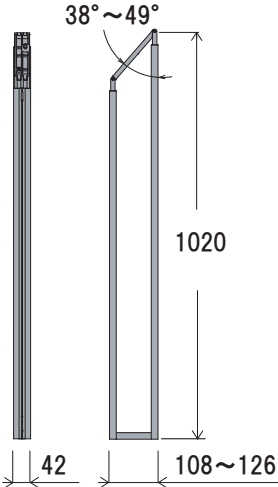
 警告	この表示の欄は「死亡や重傷を負うことが想定される危害の程度」です。		このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、又は物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。		このような絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

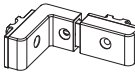
 警告			
 分解禁止	●商品を分解したり、修理、改造はしないで下さい。事故やケガの原因となります。	 必ず守る	●施工は専用の商品を使用し、取付面（下地）の強度は必ず確認下さい。（施工準備）の基準をお守り下さい。破損の原因となります。

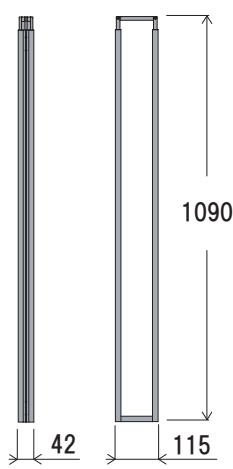
 注意	
 禁止	●本部品は住宅の屋内専門商品です。屋外や浴室などに使用しないで下さい。
 必ず守る	●取付には指定の部材以外は使用しないで下さい。ネジ等の固定には、必ず下穴を開けてから、固定して下さい。
	●各部材を取付ける際、電動ドライバーのトルク調整を行い、ネジを空転させないで下さい。
	●施工には、長尺のビットやL型のビットが必要になります。
	●施工は必ず工事店で行って下さい。
	●手摺取付後、部品、部材にガタツキがないか、ねじの締め付けを点検して下さい。
●本体柱には、施工時の傷防止として保護テープが貼ってありますので、施工完了まで剥がさないで下さい。	

施工前の確認

商品・部材の種類と必要数

階段用ユニット(勾配部)		ユニット材質：アルミ押出し材 / アクリル焼付塗装 / アルミダイカスト / サビ止め処理	
	階段ユニット本体	1本	
	アクセントライン 883mm	1本	
	アクセントライン 985mm	1本	
階段ユニット 施工部材セット			
 皿+タッピンねじ 3.5×20 2本		 六角アプセットタッピンねじ 5×30 5本	 ナベ+タップタイト 3.5×6 1本
 皿+タッピンねじ 3.5×25 3本		 固定パーツ 1ヶ	 ベースカバー L=104mm 1ヶ ※カットが必要となります。

ユニット 接続部材	
L字接続金具	
 L型ジョイント 2ヶ	 皿+ドリルねじ 3.5×25 4本  皿+ドリルねじ 4×10 2本
壁面接続金具	
 固定パーツ 2ヶ	 スペース 8ヶ  皿+タッピンねじ 3.5×50 6本
直列接続金具	
 ストレートジョイント 2ヶ	 ピアスドリルねじ 3.5×16 2本

吹抜用ユニット(水平部)		ユニット材質：アルミ押出し材 / アクリル焼付塗装 / アルミダイカスト / サビ止め処理	
	吹抜ユニット本体	1本	
	アクセントライン 1055mm	2本	
吹抜ユニット 施工部材セット			
 皿+タッピンねじ 3.5×20 2本		 六角アプセットタッピングねじ 5×70 5本	 ベースカバー L=84mm 1ヶ ※カットの必要はありません。

工具	
● ロングビット(長さ30cm程度) 六角ソケット - 8mm ※六角アプセットタッピンねじ使用時に必要となります。	
● L型ビット ※手すり棒とストレートジョイント取付時に必要となります。	
● ⊕ビット - # 2	
● ドリルビット - 4mm程度 ※5mmのビス使用時に下穴用に必要となります。	
● ドリルビット - 2.5mm程度 ※3.5mmのビス使用時に下穴用に必要となります。	

施工に関する注意

⚠

電動ドリルはクラッチ付のトルク調整可能なものを使用して下さい。
長尺ビット、L型ビット（横付ドリル）が必要です。

施工前の準備と確認

取付位置、下地の確認

取付位置寸法の確認

※最上段の路面aと踏板bの寸法が同じであることを確認してください。

※対応角度38°～49°

※吹抜けユニットは必ず床根太上に取付位置を設定してください。

床根太 35mm
吹抜けユニット
▲吹抜け枠ライン
階段ユニット 40mm以上
調整可能範囲 50～65mm

下地補強の確認

25mm以上
2F フロアー材
床根太 90mm 幅以上

吹抜けユニット
▲吹抜け枠ライン
補強材 90mm 角以上
壁面 プラスターボード

【階段用施工手順】タッピングねじは必ず下穴を開けてから取付して下さい。柱の保護テープは施工終了まで剥がさないで下さい。

1 スミだし（取付位置だし）

①踏板に階段ユニットのセンターラインをスミだしする。
踏板の端から手すりユニットのセンターを40mm以上に設定してください。

【踏板図】
40mm以上

②スミだししたラインと固定パーツの中心を合わせ、垂直、水平を確認して段鼻に固定パーツをビスで固定する。

皿+タッピンねじ 3.5×25
【上面図】

2 ユニット仮固定

①階段ユニットの固定柱を固定パーツに差込む。

※取付方向を間違えないようご注意ください。

上り
下り
差込む

ユニット差込前
踏板面
固定パーツ
【上面図】
ユニット差込時
踏板面
ユニット断面

②ユニットの垂直、水平を確認し、固定柱側の座金をビス止め、中央可動部を仮打ちする。
※この時点では、可動柱側の座金にビス止めはしないでください。

仮固定
六角アプセットタッピンねじ 5×30

【上面図】
下り側
仮打ち
ビス止め
上り側
可動柱側
固定柱側
※階段ユニット用にはビスがついておりません。

3 手すり取付

①手すり棒をユニットの上に仮置きする。手すり棒が長い場合はカットする。

カットする

②取付け部の角度を階段と平行になるよう、ユニット可動柱上部を上下に作動させ、ユニットが垂直になるよう、可動柱下部を前後に調整します。

調整
調整
可動します

【上部拡大】
※階段と平行になるよう全ユニットの角度調整をしてください。

【下部拡大】
※座金をスライドさせ、ユニットの垂直レベルを合わせてください。

スライド調整

4 階段ユニット本固定

①階段ユニット上部と手すりをビスで固定する。

皿+タッピンねじ 3.5×20

②可動柱も水平、垂直を調整してから踏板にビスで固定する。仮打ちしていた中央部のビスも増し締めする。

本固定
六角アプセットタッピンねじ 5×30

③各ユニット可動柱上部をビス止めする。

※締めすぎにご注意ください。
ナベ+タップタイト 3.5×6

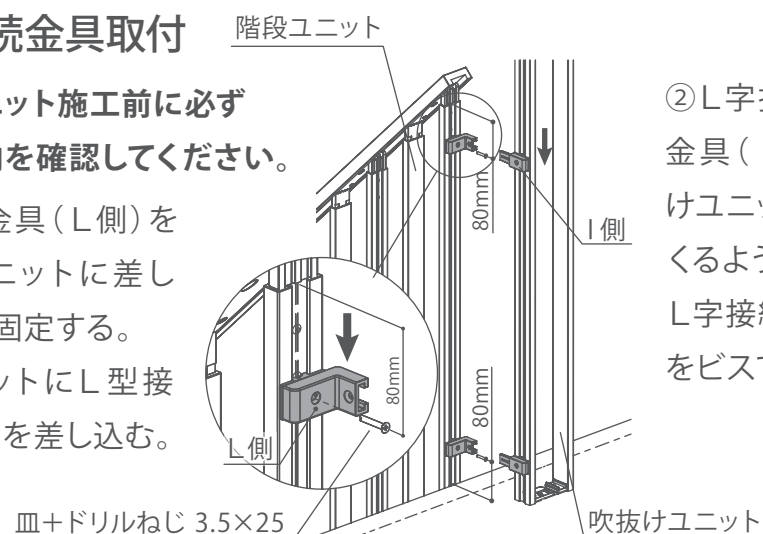
【吹抜用施工手順】 L字接続金具で取り付ける場合

必ず下穴を開けてから取付けてください。

1 L字接続金具取付

※吹抜けユニット施工前に必ず
取り付け方向を確認してください。

① L型接続金具（L側）を
2つ階段ユニットに差し
込み、ビスで固定する。
吹抜けユニットにL型接
続金具（I側）を差し込む。

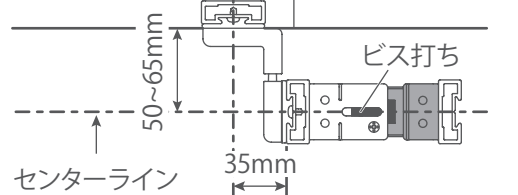


② L字接続金具（L側）に
金具（I側）をはめ、吹抜
けユニットが取付位置に
くるよう調整する。
L字接続金具（I型）
をビスで固定する。

皿+ドリルねじ
3.5×25

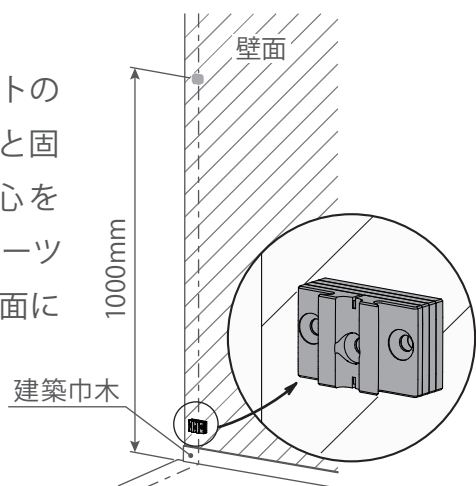
③ ユニットの
垂直を確認し、
座金中央の穴
を仮固定する。

仮固定



2 壁面固定

① 吹抜けユニットの
センターラインと固
定パーツの中心を
合わせ、固定パーツ
2つをビスで壁面に
固定する。

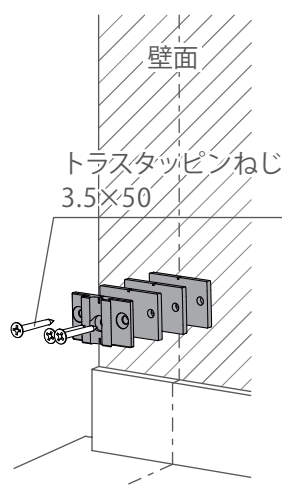


※建築巾木がある場合は、固定
パーツ付属のスペーサーを巾木の
厚みに合わせて壁面に固定する。

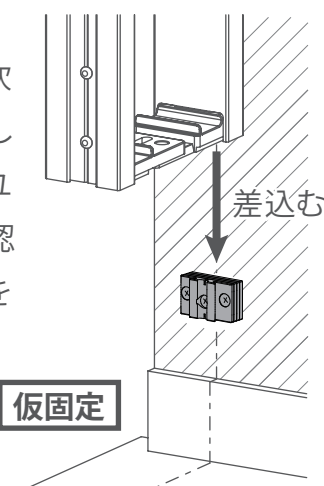
スペーサー使用枚数の目安

スペーサー厚み	= 3mm
建築巾木 6mm	= 2枚
建築巾木 9mm	= 3枚
建築巾木 12mm	= 4枚

※手すり（丸棒タイプ）は
スペーサー 4枚が必要となります。

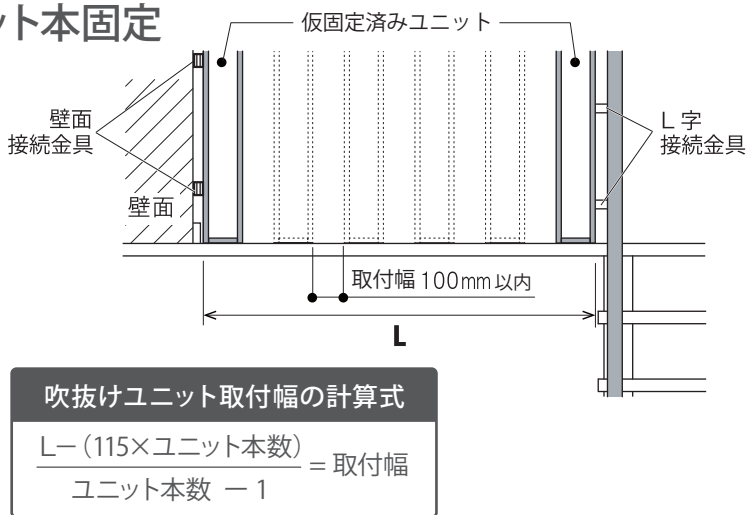


② 固定パーツに吹
抜けユニットを差し
込む。①と同様にユ
ニットの垂直を確認
し、座金中央の穴を
仮固定する。



3 割付と吹抜けユニット本固定

① ①と②のユニットの
端から端までの距離をL
とし、Lを下の計算式に
あてはめ、吹抜けユニット
取付位置を割付ける。
※取付幅は100mm以内
に設定する。



吹抜けユニット取付幅の計算式

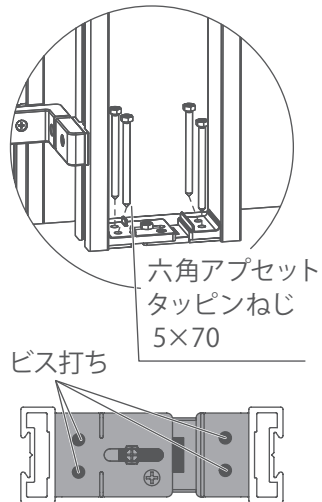
$$\frac{L - (115 \times \text{ユニット本数})}{\text{ユニット本数} - 1} = \text{取付幅}$$

② 割付けた位置に吹抜けユニットを
①、②と同様に仮固定し、ユニット
の通り芯を揃え、全ユニットを本固定
する。仮固定のビスも増し締めする。

POINT

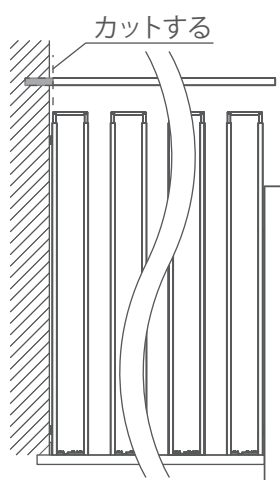
全ユニットが仮固定の状態の時、笠木をのせて
プなどで軽く固定しておけば、通り芯を揃えやすく
本固定時もブレが少なく打つことができます。

本固定

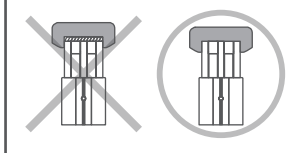


4 手すり取付

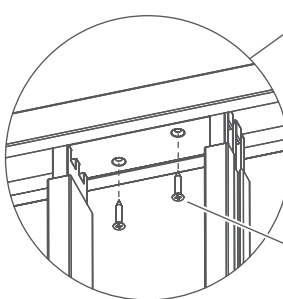
① 手すりをユニッ
トの上に仮置きす
る。手すりが長い
場合はカットする。
仮置き後、柱ユニッ
トの垂直レベルを
確認してください。



※ユニット上部が
がきちんと手すり
裏溝にはまっている
事を確認してく
ださい。

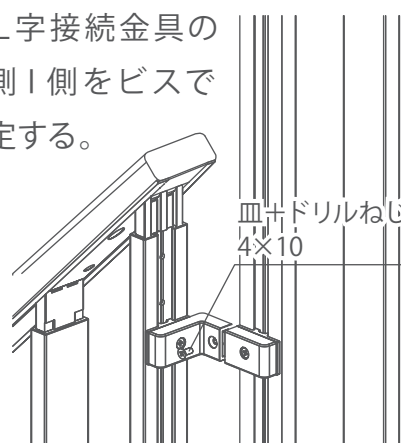


② 手すりと吹抜ユ
ニットをビス固定し
ていく。



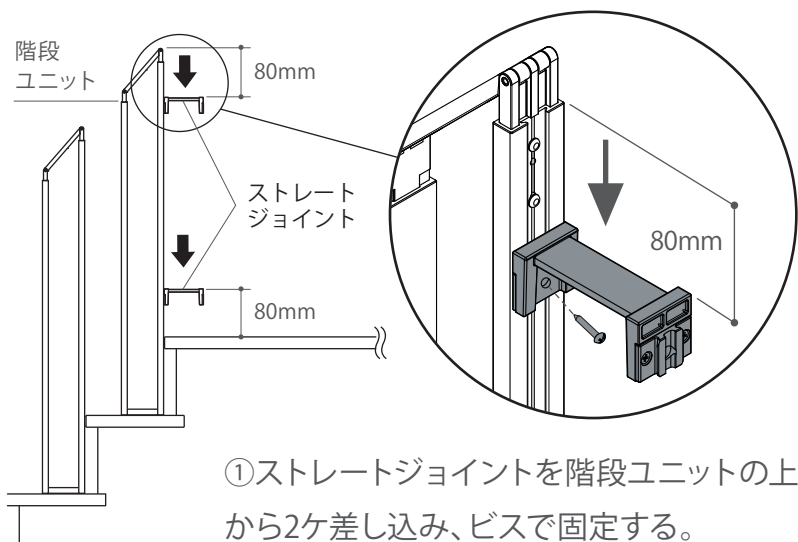
5 L字接続金具固定

① L字接続金具の
L側I側をビスで
固定する。

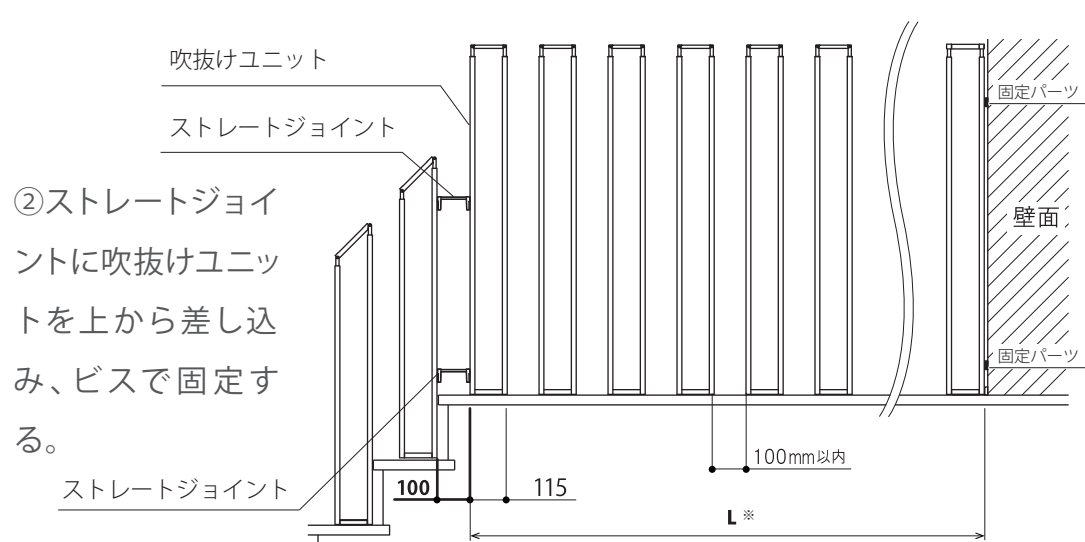


【吹抜用施工手順】 直列接続金具で取り付ける場合

必ず下穴を開けてから取付けてください。



① ストレートジョイントを階段ユニットの上
から2ヶ差し込み、ビスで固定する。



施工仕上げ

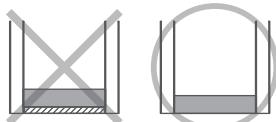
1 各ユニットカバー取付

①階段ユニットのカバーは、踏板取付金具にベースカバー（階段用）を合わせ、ユニット幅にカットする。

ベースカバー（階段用） カットする

②階段ユニットの踏板取付金具には、カットしたベースカバー（階段用）を取り付ける。
吹抜けユニットの踏板取付金具には、ベースカバー（吹抜け用）を取り付ける。
※取付方はどちらも同じ。

※カバーがきちんと奥に、はまっている事を確認してください。



2 アクセントライン取付

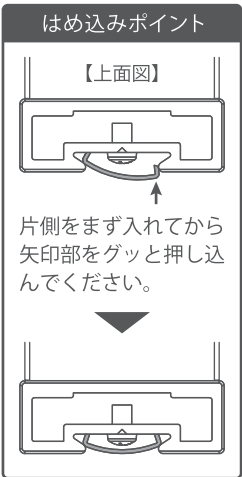
①アクセントラインを床面に合わせ、固定パーツ固定溝にはめる。

※アクセントラインには階段用2種類、吹抜け用1種類あります。よくご確認のうえ取付けてください。

階段用 吹抜け用

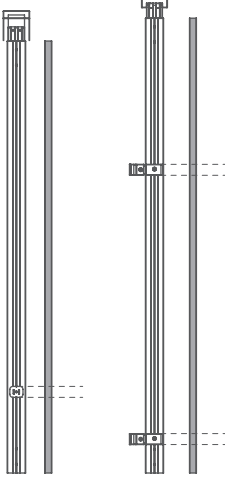
883mm 985mm 1055mm

※床面に合わせてください。



②固定パーツ、L型接続金具が取り付けられているユニットの場合、アクセントラインのカットが必要になります。固定パーツ、L型接続金具までの距離に合わせカットしてください。

----- カット位置



取扱説明書

施主様へ取扱上のお願いと安全上のご注意

必ずお守りください

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用下さい。
- お読みになった後は、大切に保管して下さい。
- この説明書で使用しているマークは以下のような意味があります。

警告	禁止	指示
「死亡や重傷を負うことが想定される危害の程度」です。	してはいけない「禁止」内容です。	実行しなければならない「指示」内容です。
警告	分解禁止	絶対に分解したり、修理、改造はしないで下さい。 ケガや事故の原因となります。
	禁止	手すりをゆすったり、ねじをゆるめたりしないで下さい。 手すりの破損、ケガや事故のおそれがあります。
	禁止	手すりにぶら下がったり、登ったりしないで下さい。 柱のすき間から身をのり出さないで下さい。 手すりの破損、ケガや事故の原因となります。
	必ず守る	ご使用前に手すりのガタツキやゆるみ等がないか、確認して下さい。 ガタツキがある場合はご使用なせずに施工店へご相談ください。

お手入れについて

手すりは化学ぞうきんや乾いた布でカラ拭きして下さい。
手すりは木製ですので、水を使用すると痛みや腐食の原因となります。
水等をこぼした場合はすみやかにふき取ってください。
柱はアルミ製です。アルミはキズがつきやすいので、やわらかい布で水拭きして下さい。
仕上に必ずカラ拭きして下さい。
汚れた場合は、中性洗剤をうすめて、やわらかい布やスポンジに含ませて拭いて下さい。
仕上にカラ拭きして下さい。

※アルコール、シンナー、ベンジン等をご使用されますと、変色、変形の原因となりますので、使用しないで下さい。
※たわしや研磨剤入り洗剤等をご使用されますと、キズがつくおそれがありますので、使用しないで下さい。